

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
専門分野Ⅱ 小児看護学	56 小児看護学概論	1	15	1年次後期	津田 はづき

テキスト(発行所)	小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論(医学書院)
-----------	---------------------------------

学習のねらい	小児看護の対象と対象を取り巻く状況を理解し、子どもの権利を尊重した小児看護の役割について理解できる。
学習目標	1. 子どもの人権を守ることに對する基本的態度が理解できる。 2. 小児看護の変遷と、現代の子どもとその家族を取り巻く状況について理解できる。 3. 小児各期の成長・発達を理解できる。 4. 子どもに関する主な法律や政策について理解できる。

学習スケジュール			
回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	小児看護学講義概要 子どもとは？	・ガイダンス ・子どもの理解 ・子どもと家族を取り巻く社会の動向 ・小児看護の役割	講義 グループワーク
2回	子どもの人権と看護	・子どもの権利 ・小児看護における権利・倫理	講義 グループワーク
3回	子どもに関する法律と政策	・児童福祉法、母子保健法など	講義
4回	小児の成長・発達	・成長・発達とは ・成長・発達に影響する因子 ・小児看護学において用いられる理論	講義
5回	小児各期の特徴1	・新生児期 ・乳児期	講義
6回	小児各期の特徴2	・幼児期 ・学童期 ・思春期、青年期	講義
7回	子どもにとっての家族	・家族とは ・現代家族の特徴 ・家族のアセスメント	講義 グループワーク
8回	小児看護が指すもの	・まとめ	講義 グループワーク

単位認定の方法	1. 15時間のうち、12時間以上の出席があること 2. 評価の割合:以下の評価方法で60点以上の得点があること 1) 終講試験 80点 2) リフレクションカード 第1回から第8回の講義での学びを記入 10点 3) 子どもの権利に関するレポート 10点 3. 1・2の要件が両方満たされ、単位認定とする
受講上のアドバイス	近年の少子化・情報化社会・核家族化などにより、子どもを取り巻く社会は急激に変化しています。社会の変化、小児医療の変化の中で、小児にまつわる問題意識を高め、講義やグループワークを通して小児看護について考える授業展開となっています。
担当教員の 実務経験	病院で看護師としての実務経験あり